

特集

いまから行動。目指そう！ごみ減量No.1のまち

市の家庭ごみの現状とごみ減量のために実践しやすい取り組みを紹介。ごみの分別・減量を、できることから始めてみませんか。
環境政策課 ☎504-2505、☎504-2229

「ごみ減量No.1」のまちを目指して

市は、美しく環境にやさしいまちとして、一人一人が意識してごみの減量に取り組む、ごみ減量No.1のまちとなることを目指しています。

市の家庭ごみの現状を、ごみの収集業務を行う環境事業所の職員の声とともに紹介します。今日からできるごみの分別・減量に取り組みましょう。



正しい分別と少しの行動が、ごみの減量などにつながります。家庭ごみの減量に向け、食品ロス[※]の削減、リサイクル可能な紙類の分別と、3R[※]に取り組みましょう。

※「3R」とは、ごみ削減のための三つの行動の頭文字



市内に在住の高村さん一家(左写真)。市のごみの現状を知り、ごみの減量のために今から行動しようと考え、具体的な方法を実践しました。

今日もあなたのまちを走るパッカー車

トラックの荷台後部に、ごみを圧縮する装置を持った機械式ごみ収集車を「パッカー車(塵芥車)」といいます。市内では1日当たり約230台のパッカー車が稼働。家庭ごみのうち、可燃ごみやペットボトル、リサイクルプラ、その他プラ、不燃ごみを回収しています。

環境事業所の清掃指導員に、ごみ収集の仕事内容やパッカー車の機能、現場で困ったこと、ごみの出し方のアドバイスなどを聞きました。



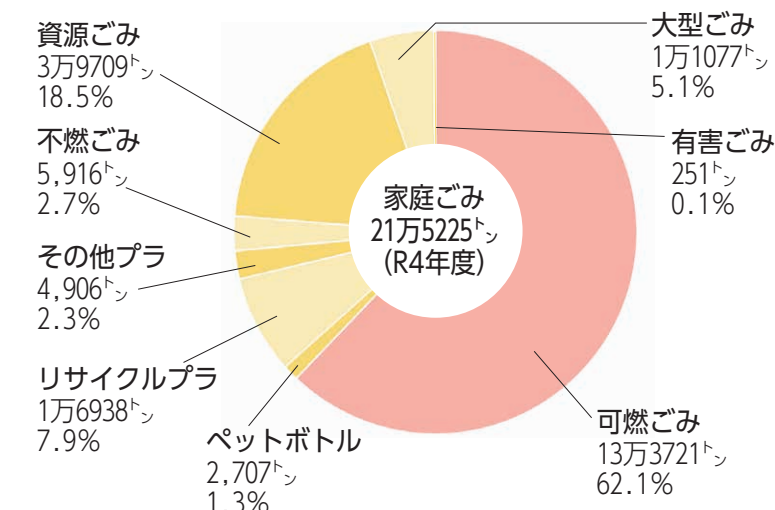
清掃指導員 米林さん

ごみ収集は、8:30から始まり、あらかじめ割り振られた収集コースを、午前と午後に分けて回ります。パッカー車は、回転板が回り、ごみを中に送り込み、押し込み板で圧縮しながら奥に押し込む仕組みで大量のごみを積み込むことができます。収集時は、回転板に巻き込まれないように、約1メートル離れた位置からごみを投げ入れていきます。

●パッカー車荷台後部の仕組み



家庭ごみの内訳(年間)

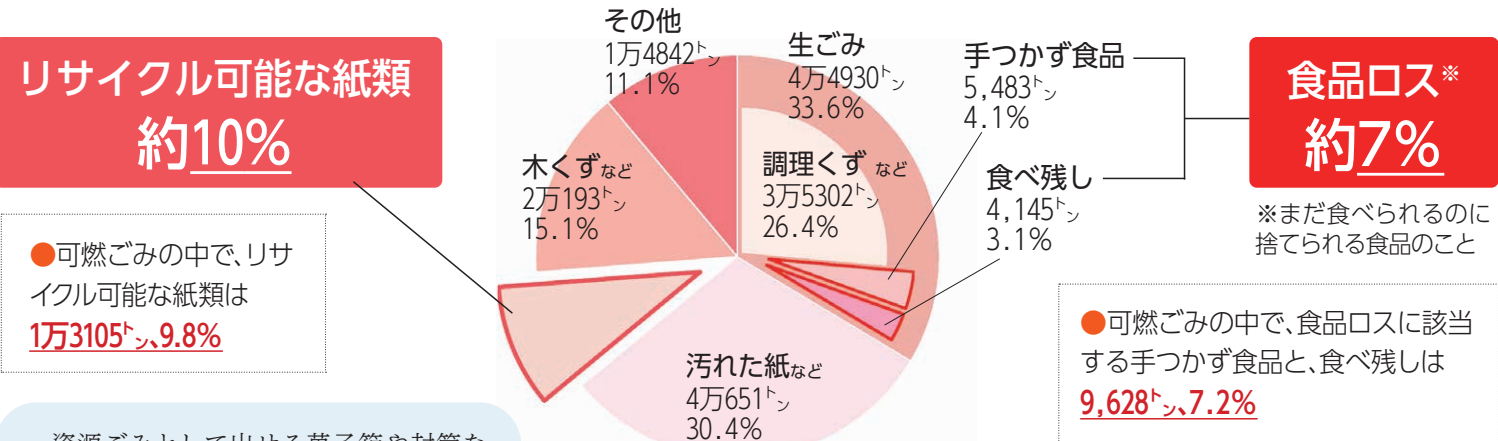


●昨年度、市内で回収された家庭ごみを1日当たりに換算すると約590^ト。およそ25日分でマツダスタジアムが満杯になる量です
●処理費用は、年間約135億円

家庭ごみのうち6割以上が可燃ごみです。可燃ごみの収集のとき、ごみ袋が破裂して生ごみの水が飛び散って汚れることがあります。生ごみは水分をしっかり絞って出せば、水分量分のごみの減量につながります。



可燃ごみの内訳(年間)



●可燃ごみの中で、リサイクル可能な紙類は 1万3105^ト、9.8%

資源ごみとして出せる菓子箱や封筒などが可燃ごみに交ざっていることが多いです。年度末になると、教科書やノートが可燃ごみに入っていることもあります。資源になるものを正しく分別することで、リサイクルされ、新たな製品に生まれ変わります。



袋が空いていないパンや食べ切れなかったお菓子などが捨てられています。中には、おまけ目的で購入されたお菓子が丸ごと捨てられていることも。食べ切れる分だけ買うなど、一人一人が「もったいない」を意識することが大切です。



条例で「消費者の役割」を定めています

市は、昨年4月、「広島市食品ロス削減推進条例」を施行

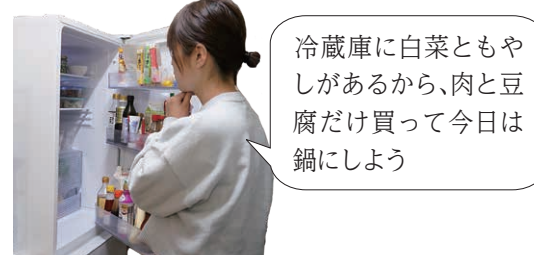
しました。条例では行政と事業者の責務、消費者の役割を定めています。消費者の役割は、賞味・消費期限を正確に

期限の違い

賞味期限…おいしく食べることができる期限。すぐに食べられなくなるわけではない
消費期限…過ぎたら食べないほうがよい期限

食品ロスを削減

無駄なく使い切り、余分なものは買わない



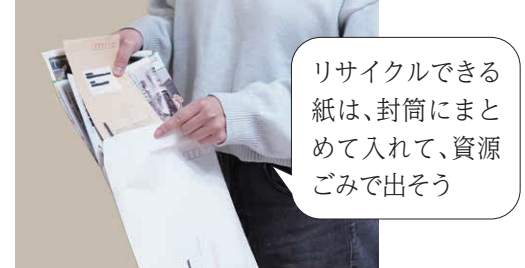
冷蔵庫に白菜ともやしがあるから、肉と豆腐だけ買って今日は鍋にしよう

買い物に行く前に家にあるものをチェックし、使うだけの食品を購入しましょう。すぐに食べるものを買うときは「てまえどり」を。無駄なく使い切り、残さずに食べ切りましょう。



紙類は分別してリサイクル

紙類は分別して資源ごみに



リサイクルできる紙は、封筒にまとめて入れて、資源ごみで出そう

名刺大以上の大きさの紙ごみは、資源ごみ。封筒やはがきは、個人情報を油性ペンで塗りつぶすか、切り取って出しましょう。紙類は、ひもでくくるか、封筒や紙袋に入れて出してください。

ただし、スーパーのレジ袋などの感熱紙は再生できません。「可燃ごみ」で出してください。



Reduce / リデュース

ごみの発生を元から減らす

マイバッグ、マイボトル、マイ箸を持参しよう



出かける時はマイバッグとマイボトルを持って行こう

※マイバッグは支払いが終わってから使ってください

繰り返し使えるものを使用することでプラスチックごみなどの減量につながります。

Reuse / リユース

物を大切に、繰り返し使う

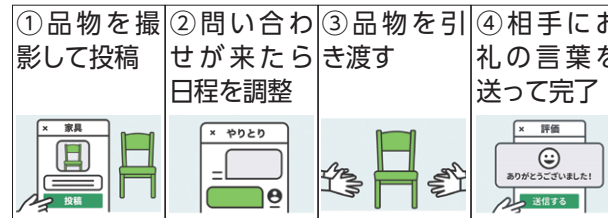
使えるものは捨てずに、次の持ち主を見つけよう



着ていない服を、他の誰かに使ってもらおう

ジモティー

*1 「ジモティー」は、スマートフォンで不要品の画像などを簡単に投稿でき、譲り先を地元で見つけることができるサービスです



おいくら?

*2 「おいくら?」は、スマートフォンで一度に複数のリユースショップの買い取り価格を比較し、売却できるサービスです



Recycle / リサイクル

資源として再生利用する

小型家電は回収ボックスを活用しよう



投入口は縦15^{センチ}×横30^{センチ}×奥行40^{センチ}
使わなくなったパソコンは初期化して回収ボックスに入れよう

スマートフォンやパソコンなどの小型家電は資源として回収されれば、含まれている有用な金属などが新たな資源として生まれ変わります。

〈回収ボックス設置場所〉

- 全区役所 ●LECT(西区)
- ゆめタウン広島・みゆき店(南区)

〈その他の回収方法〉

- イベント回収 各区のイベント会場で小型家電を大きさの制限なしで回収します
- 宅配便回収 宅配業者が希望日時に自宅を訪れ回収します

※小型家電の回収について詳しくは市ホームページ

市HP ページ番号 1377113771

発火の危険があるごみにご注意を!

リチウムイオン電池などの小型充電電池は、強い衝撃が加わったり変形したりすると、発熱、発煙、発火するなど、大変危険です。



発火する恐れのあるごみが不適切に排出されると、ごみ集積場や収集車、焼却工場、埋立地などで火災の原因となります。

可燃ごみには絶対に入れないで、右記の方法で出しましょう。

発火する恐れがあるごみの例

- 充電式小型家電(デジタルカメラ、加熱式たばこ、スマートフォン、電気かみそりなど)
- 充電電池(リチウムイオン電池)
- スプレー缶
- ライター

正しいごみの出し方

- 充電式小型家電(デジタルカメラなど) 充電電池を取り外してから、大きさにより「不燃ごみ」(最長の辺の長さか最大径が30^{センチ}未満)か「大型ごみ」として出すが、「小型家電リサイクル」(上記)へ
- 外した充電電池 両極をテープで留めて「有害ごみ」で出す
- スプレー缶 中身を空にして穴を開けず「資源ごみ」で出す
- ライター 火災予防のため、他の不燃ごみと袋を分け、袋に「ライター」と書いて「不燃ごみ」で出す



企画展「ごみ収集車は今日も行く」

5月6日(休)まで
マツダ交通ミュージアム
ごみ収集車の実車展示や写真、動画、パネルなどで、収集車の仕組みや、ごみの処理・リサイクルなどの過程を分かりやすく解説。詳しくは、同館ホームページ
※関連イベントを、本紙8^{ページ}に掲載
展示室観覧料:大人510円、高校生・シニア250円
☎878-6211、☎878-3128
休(月)(4月29日、5月6日は除く)、3月21日、4月30日

